

演題: 多剤耐性菌に対するD-ペプチドの治療効果の可能性



概要

薬剤耐性病原菌の出現は、人間の健康を脅かしている。既存の抗生物質に対する耐性は増加しており、一方で新しい抗生物質の登場は遅々として進んでいない。カチオン性抗菌ペプチド(CAMPs)は、従来の抗生物質に耐性を持つグラム陽性菌およびグラム陰性菌の両方に対して活性を持つことから、魅力的な代替抗生物質である。本セミナーでは、薬剤耐性菌感染症の治療に有用な抗生物質としてのカチオン性D-ペプチドの可能性について紹介する。

講演者:

Prof. Jae Il Kim

Gwangju Institute of
Science and Technology
(GIST: 光州科学技術院)
生命科学部教授

経歴

1985年 釜山国立大学(学士号取得、化学専攻)
1987年 釜山国立大学(修士号取得、生化学専攻)
1992年 東京大学(博士号取得、生物物理学および生化学専攻)

職歴

1993年～1997年 三菱化学生命科学研究所研究員
1997年～1998年 東京大学助教授
1998年～2002年 GIST生命科学部助教授
2002年～2007年 GIST生命科学部准教授
2007年～ 現在 GIST生命科学部教授

<会場案内>



- ・主 催: レジリエント社会構築イノベーションセンター 糖鎖特性解析プロジェクト
- ・共 催: 株式会社糖鎖工学研究所
- ・日 時: 2025年1月28日(火) 14:00～15:30
- ・場 所: レジリエント社会構築イノベーションセンター 3階大会議室(J03)
- ・参加費: 無料
- ・現地参加申し込み: 事前登録不要
- ・Web参加申込 : 事前登録必要

参加ご希望の方は、1月27日(月)までに下記URLもしくは二次元バーコードよりご登録をお願い致します。
お申し込み後、参加登録のメールアドレスへ会議室URLを通知いたします。前日までにメールが届かない場合には、
下記の世話人までご連絡ください。

<https://forms.office.com/r/WtWxGH0sil>

また、本サイトからご登録いただきますとライブ配信終了後、アーカイブ配信が視聴いただけます。
(アーカイブ映像の準備が整うまでご講演終了後より一定時間再生できないお時間がございます。)

【世話人】

権 垠相(理) (Tel: 022-795-6752) ekwon@tohoku.ac.jp

坂本 泉(医) (Tel: 022-752-2211) izumi.sakamoto.e3@tohoku.ac.jp

